

第3回EASエネルギー大臣会合共同声明（仮訳）

1. 第3回EASエネルギー大臣会合は、ミャンマー・マンダレーにて09年7月29日に開催。議長はルー・ティン・エネルギー大臣（ミャンマー）、副議長は上田審議官（日）が務めた。
2. 世界経済危機や、過度のエネルギー価格変動について意見交換。09年4月に東京で開催されたアジア産消国閣僚会合等の場で進められている産油国・消費国対話の継続的強化を要請。
3. 持続的な経済成長に向け、エネルギーの安全保障と持続性を改善するためのEAS地域における国際協力の重要性を強調。このため、省エネ、再生可能エネルギーやバイオ燃料など代替資源を含む低炭素エネルギーの活用、およびエネルギー市場統合の促進、といった既に進行中の取組を一層強化。
4. 将来のエネルギー需要に対応するため、エネルギー産業全般への継続的投資の必要性を強調。
5. エネルギーの安定供給のために、機能的なエネルギー市場が重要であることを確認。JODI強化、商品市場の透明性改善に向けた関係機関の努力、適切な監視や協調行動といった取組を推奨。エネルギー価格補助金の引下げ・撤廃に向けた取組を歓迎。
6. 省エネ・市場統合・バイオ燃料の3分野で展開されるECTFの協力作業を歓迎。
7. 多くの国から報告された省エネ目標・行動計画を歓迎し、これがエネルギー安全保障と気候変動問題に対するEAS諸国の決意であることを表明。今後とも継続して省エネに取組み、その進捗や達成状況を自主的にフォローしていくことをコミット。より効率的な目標達成に向け、発電・産業・運輸・建築物・家電製品などセクター別の定量的分析と対策が有効であることを確認。改善ポテンシャルの算出、必要とされる最適技術の特定、および一層の国際協力のためにセクター別アプローチが重要であることを確認。各国が相互理解を深めるための、ACEによる政策担当者向けWS開催提案を歓迎。国際金融機関に対して、省エネ投資への支援を要請。
8. 各国の省エネ目標を反映してERIA-WGが作成した「EASエネルギー見通し」とそれに基づく政策提言を歓迎。セクター毎の特性を反映したより効果的な政策提言や最適技術普及に対する障害の特定に向け、セクター別の需要見通し策定を要請。本作業による、EAS各国の協力や人材ネットワークの強化に対するERIAの貢献を評価し、今後とも有益な政策提言策定を期待。

9. A E E Cが進める各国省エネ政策のデータベース化とウェブサイト構築を歓迎。関心のある国々がそれぞれの最新政策やその進捗状況を共有することの重要性を認識。
10. 産業・サービスセクターにおける省エネを進める上で、エネルギー・マネジメント・システムに関する人材育成の重要性を認識。エネルギー管理士に関する人材育成は一連の省エネアクションプランにおいて重要な部分であることを表明。
11. 環境、生物多様性の保護、食料安全保障などに配慮しつつ持続的に供給されるバイオ燃料に対する強い関心を再度確認。バイオ燃料の規格標準化・安定供給・普及のため、「東アジアにおけるバイオ燃料データベース」、「E R I Aバイオディーゼル燃料トレードハンドブック」、「東アジアにおけるバイオマス活用の持続可能性評価ガイドライン」を歓迎。バイオ燃料WSと傘下WGによる今後の一層の研究活動を要請。
12. アジアバイオマス協力オフィスによる「バイオマスR&Dデータベース」構築を歓迎し、継続的な情報収集とその共有を要請。また、E A Sにおける人的ネットワーク強化につながる「研究者招聘プログラム」を歓迎。
13. E A S地域におけるエネルギー市場統合推進の重要性に鑑み、エネルギー取引の相関や市場統合が優先的な課題であることを再確認。各大臣は、市場統合が長期的課題であることを記録。需給状況の変化に対する市場の反応を改善するため、各国の経済状況に配慮しつつも、効率的な市場メカニズムの妨げになるような障壁を除去していくことが必要。このために、貿易や投資の一層の自由化や、オープンで競争的なより、一層統合された地域エネルギー市場を阻害するような障壁の削減・排除が望まれる。
14. E C T Fにおける、統合され、自由化されたエネルギー市場のメリットに関する情報共有や継続的検討を歓迎。各国におけるエネルギー市場の多様性を考慮しつつ、市場統合に対する障害への対応方策や取引の透明性改善・投資促進に関する国際協力推進について、今後とも検討。
15. 各国参加者は、ミャンマー政府・国民に対し、会合の準備や歓迎に対する謝意を表明。
16. 2010年のE A Sエネルギー大臣会合は、ベトナムで開催する予定。